



新春さわやかトーク

日本文化と地域貢献を語る

ジョージ・W・ギッシュさん ◆ 多田区長

(江戸川総合人生大学国際コミュニティ学科長)

今回の新春対談は、江戸川総合人生大学国際コミュニティ学科長のジョージ・W・ギッシュ先生をお招きし、多田区長と「日本文化と地域貢献」について語っていただきました。
始めに、ギッシュ先生から、日本の伝統楽器である琵琶の演奏をご披露いただき、引き続きお二人の対談が行われました。

日本にかかわるきっかけとなった

琵琶の王会

区長 あけましておめでとうございます。
ギッシュ Happy new year to you, too. (おめでとうございます)

区長 今年もどうぞよろしくお願いいたします。

今、先生の素晴らしい琵琶を拝聴いたしました。清々しい気持ちになりました。先生の演奏を、私は初めて聴いたのですが、これは何という曲ですか？

ギッシュ 「迷悟もどき」という曲です。区長さんに初めて琵琶をお聴かせする曲として用意しました。この「迷悟もどき」は、16世紀半ばに薩摩の戦国大名であった島津忠良が、宗教や道徳の教えを一つにまとめた教訓歌であり、薩摩琵琶歌の起源でもあります。演奏に使用した琵琶は、薩摩琵琶です。

区長 歌詞の中に出てきた「情けは人の為ならず」(※1)などは、今でもことわざとして言われている、人が生きていく上で必要な教えですね。私たちの世代になりますと、語りの意味は概ね分かるのですが、今日聴かせていただき、その言葉の深さを改めて感じました。

ギッシュ 私も世界の音楽を研究している一人として、日本の古い音楽に非常に関心を持っていました。歌詞の中にもあった「仁者に敵なし」(※2)など、今の時代に通じるすばらしい教えが400年以上も前から日本にあったということが、私にとって本当に大きな発見でした。

区長 琵琶音楽は、まさに一つの文化ですね。今の時代、琵琶は同じ弦楽器の三味線や琴などに比べると、あまり馴染みがないように思われますが、私たちが子どもの頃は、琵琶を演奏する人が結構いました。私の母親もやっていたね。

(2面へつづく)

※1 人に情けをかけておくと、巡り巡って結局は自分のためになる
※2 情け深い人には敵がない

人の役に立つことが 生きる喜びや 地域の大きな力になる



江戸川区長 多田正見

（1面からつづく）

ギッシュ 本当ですか？

区長 ええ、平家物語を子守唄のようにやってください。『祇園精舎の鐘の聲』、諸行無常の響きあり、ベンベンベン、という調子でね（笑）。

ギッシュ いいですね、身近な人が演奏していたなんて。お母さまが弾かれていたのは筑前琵琶でしたか？ 薩摩琵琶でしたか？

区長 それはよく分かりません。子どもの頃でしたからね。でも、私たちは、琵琶といえは平家物語を思い浮かべ、それを琵琶法師が語ったというようなことをイメージしますよね。今でも、日本人の心の中に、源平盛衰記の「無常観」とか「栄枯盛衰」といったものが、琵琶と一緒にずっと伝わってきている気がするのです。

ギッシュ 今日は、先ほど演奏した薩摩琵琶のほかに、楽琵琶を持ってきました。これは1300年くらい前に、いわゆる東西交易によってシルクロードを経て日本に伝来した琵琶です。また、奈良の正倉院には、世界で一番古い形の琵琶が残されています。

区長 長い歴史が感じられますね。薩摩琵琶と楽琵琶の違いは何ですか。

（右下からつづく）
ギッシュ 和服も、時代によって流行があったのだと思います。戦国武将の織田信長は、ポルトガルから入ってきた文化を融合させて、新しい粋をつくりました。そして今、渋谷の若者のファッションが世界中で注目されているようです。国内での評価は別にして、外国では面白いとか新鮮なものと感じているのです。新しいものを、日本が誇りを持って発信する時代になったと思いますね。

「コミュニティの大切さ」 江戸川区の温かい文化

区長 日本も、明治から大正、昭和とそれぞれの時代を経て発展し、文化そのものも相当変わりました。例えば、夏目漱石や森鴎外などの本を読むと、その時代の人たちが何を考えていたのかが分かり、とても魅力的です。しかし、時代の流れの中で、今私たちは、それぞれの世代ごとに何が求められているのかわかりかねますね。

ギッシュ それは仕方がないですね。世の中は変わっていきますから。

区長 ですが、世の中に合わせながら、良いものを求めていくということが必要だと思います。もちろん、精神的な文化や心の有り様というのは、いつの時代にも不変のものだと思えますし、世界のどの国の方々も本質的には同じだと思います。しかし、社会的な仕組みの中で、少しずつ考え方が違っているのですね。西洋はキリスト教の影響もあるのかもしれないが、「契約思想」という個人の責任を重んじる文化です。日本人とは発想が違いますね。例えば、外国でタクシーに乗り、料金を支払い、お釣りをもらうとき、その額を外国の方はきちんとチェックしますよね。でも、日本人はすぐポケットに入れてしまいます、数えすね。

ギッシュ 日本人は、お互いに信頼し合っているのです。そのせいか、日本人は外国に行くとき非常に無防備です。アメリカはいろいろな国の人たちが一緒に生活しているため、相手を信用しないという前提に立つた上で、自分を守っています。私も初めてニューヨークに行ったとき、ひどい目に遭いました。田舎から都会に行く場合、考え方や生き方を見直して、自分を守ることに注意を払わなければいけません。



また、以前なら村や、東京の下町のよう、そこに暮らす人々がお互いに分かり合えていた。したが、今は隣に誰が住んでいるのかわからなくなりました。このような環境の中で、人どう接していけばいいのかわからないのかを

考える必要があります。本当はいつもオープンな関係を保っていたのですが。

区長 おっしゃるのとおりですね。江戸時代の下町で長屋というのがあります。一つの長屋の中には大家さんがいて、いつもリーダーとして面を見てくれていました。町民は、それぞれ住む家こそ違いますが、お互いが共同生活のように、みんなで助け合って生活を営むという文化です。私はコミュニティを形成する上で、とても素晴らしい文化だと思っています。

ギッシュ こういう時代だからこそ、コミュニティの大切さを見つめ直し、お互いの顔が見えるようにならないといけないですね。

区長 幸い江戸川区には、助け合い、支え合いのコミュニティが残っていると思います。江戸川区に住んで30年になるというタクシの運転手さんが、「お客さんを乗せると分かいますが、どのお客さんもみんな心が温かい。江戸川区には、今、世の中で忘れられている人情があります」と言っていました。こういう地域の温かさは、アメリカやヨーロッパにもあるのではありませんが、やはりそれは、日本の普遍的な心の拠り所として、大切にしていきたい文化ではないかと思っています。

ギッシュ 江戸川区は、この30年間にずいぶん環境も整備されました。アメリカ東海岸に、緑が豊かで「ガーデン州」と呼ばれるニュージャージー州があります。まさにそれと似た、東京の「ガーデン区」になったかと思いませんか（笑）。古くから住んでいる人と新しく入ってきた人の間には、まだある程度の違和感があると思いますが、幸い、いろいろなまちづくりのプロジェクトがあります。江戸川

「違い」を取り入れる

日本文化のすばらしさ

区長 先生は長年にわたり、青山学院大学をはじめ、数々の学校で教鞭を執り、日本文化を深く研究され、おそらく一般の日本人よりもはるかに日本文化を理解してくださっていると思います。もちろん、生まれ育ったのはアメリカであるわけですが、先生のその感性はどのように養われたのでしょうか。

ギッシュ 子どもの頃の育ち方が影響していると思います。私はカンザス州の田舎で生まれましたが、昼間は地平線が丸く見え、夜は辺り一面に星が見えます。そのような自然環境からか、「人間の尊厳」といったことを教えられるのではなく、自然に考えたのです。

日本も海や山、川など自然に恵まれているが、田舎といっても山奥でない限り人がたくさんいます。ですから日本の場合、大自然の中の地平線や、空全体が見えるというアメリカの世界観とは少し違うかなと思います。

区長 その「違い」ということですが、先生は著書「ワンダフルライフ」で、素晴らしき「違い」の中で、日本とアメリカの文化の違いや日本のすばらしさなどを紹介しておられます。私は、日本にいる外国の方の中で、先生のように、日本と外国の文化を目と心で体験し、理解してくださっている方は、とても貴重だと思います。

ギッシュ 日本に来たとき、「日本は島国である」とよく聞かれましたが、それは、江戸時代の鎖国主義というところからきているのかもしれないですね。しかし、日本文化のルーツをたどれば、何千年も前から、多くの人や文化が外から入ってきていることが分かります。そしてこれを大切にして、新しい形に変化させていくのです。日本人はインベーション（技術革新）が非常に上手な国民ですね。

区長 私もある本で、「日本人は、伝統的な文化にほかの文化のいいところをプラスしていく能力や知恵が長けている」という話を読んだことが

にこう言ったのです。「アメリカは日本に学ぶところがある。それはみんながお互いに優しい。アメリカにはこの優しさがいい」と。相手を大切にすることが日本人の良さです。ただし、それが行き過ぎると相手に合わせずまい、自分を無くしかねません。日本人はもう少し、自分の良さを知り、自信を持って発信するという文化をしっかりと築くことが必要です。そのことが今の時代、世界から求められていることだと思います。

区長 私たちは日本に住んでいますと、外国の方が日本という国をどのように見ているのかわかりませんが、先生のお話を聞いてみると、なるほどなと思います。もっとも自分たちを知る必要がありますね。

ギッシュ アメリカ人は、すぐに行動するという積極性がありますが、他人より自分のやり方が正しいと思う人も多い気がします。しかし日本人は、相手が何を求め、どのような貢献ができるかをまず考えます。ぜひ江戸川区の中でも、地域の国際交流や外国人との共生のあり方などを考えていただき、外国人のニーズに応えていってほしいと思います。（4面へつづく）

日本人のアイデンティティ ～日本人らしさは～

区長 先生は、日本文化史を専攻され、これまでに長く研究を積み重ねてこられました。これの中で感じている様々な文化的側面があると思います。心の文化もあればハードの部分もあるかもしれません。そういった中で、日本人のアイデンティティというようなもので、すばらしいと感じていることはありますか？

ギッシュ たくさんありますが、根本的に、日本人は優しいです。私が初めて来日したのは、戦後あまり歳月が経っていない頃です。それにもかかわらず、外国人に対する憎しみや排他的な気持ちや表面に出していませんでしたし、どこへ行っても優しく受け入れてくれたのです。私の二人の甥が、10年前に日本に来ました。私は国内をいろいろと案内したのですが、その一人が最後



ジョージ・W・ギッシュさん

1936年、アメリカ合衆国カンザス州生まれ。青山学院大学名誉教授。エンポリア・カンザス州立大学卒業後に来日。日本の伝統音楽に興味を抱き、後に琵琶音楽を研究。以後、日米間を行き来し、琵琶音楽の普及活動続ける。平成16年の江戸川総合人生大学開学当初から国際コミュニティ学科長を務める。港区在住。



■薩摩琵琶による「迷悟もどき」の演奏、右は楽琵琶

人との出会いの中で自分を知り 相手を大切に心を養う



地域貢献を目指す

江戸川総合人生大学

（3面からつづく）

区長 今、先生は「貢献」とおっしゃいました。私たちは「社会貢献」とも呼んでいます。社会のニーズにどう応えていくかは、政治や行政がやるべきことであり、その課題はたくさんあります。江戸川区では、豊かな社会づくりの実現に向けて、「地域のために、他人のために何ができるか」という区民の思いを実践に結び付け、これを集積し、その力を大きくする取り組みが必要だと考えます。そこで、みんなの力で社会貢献を実践しようという思いで、江戸川総合人生大学をつくりました。先生にも、国際コミュニケーション学科の学科長として、いろいろ教えていただいております。

ギッシュ 地域、行政、専門的な先生と一緒に、お互いに学び合い、地域社会に貢献する姿勢は、普通の大学ではできないことです。実は、江戸川総合人生大学の理念を最初に聞いたとき、大変驚きました。なぜなら、私の教育方針と同じだったからです。しかしそれまでは、思うように実践してこれませんでした。それが江戸川区からお誘いをいただき、かわることによって、私の人生が大きく開けたのです。

今、世界はグローバル化の時代だと言われています。私は学生たちに、「あなたたちは、江戸川区の国際コミュニケーションをこれからつくるのではなく、既にある国際コミュニケーションを、まちに出て発見することが大切だ」と言っています。例えば、学生たちはインド人学校で、日本の文化や言葉を教える手伝いをしています。また、小松川第二中学校の夜間学級に通う外国人の支援を行い、交流を深めています。そのほかにも、現役学生や卒業生があらゆる場所で活躍しています。学生たちは、この大学で出会い、すばらしい仲間とともに、新しい江戸川区を発見するために社会貢献をしています。私が区長さんから学科長を頼まれた6年前には想像できないような実践が、今見えてきているのです。

区長 まさにそれが「共育」「協働」です。自分たちの役割や、人として生きる価値とは社会貢献なんだと感じていただき、協働という実践に結び付けてもらえればと考えています。それが、江戸川総合人生大学の「建学の精神」です。ロシアの小説家、トルストイは、「人は何のために生まれてきたのか」「生きる価値とは何か」を自問し、その答えとして「他人のために生きることこそ価値がある」という思想を終生貫いた方だと思っています。その思いは、人間にとっての生きがいにつながる、世界普遍のものだと思います。私は、他人のために役に立つことを実践できる国や地域にしたいという思いがありますね。

ギッシュ と

でもすばらしいですね。そうした理念を実現することは、決して一人ではできません。地域のみなさんと一緒に、地域のために活動するグループづくり、人間づくりを進めていかなければならないと思います。

江戸川総合人生大学というプロジェクトにかかわらせていただき、私の方から区長さんに感謝の言葉を言いたいです。本当にありがとうございます。

区長 こちらこそありがとうございます。実践というのは、やはり大勢でやるということです。もちろん、一人ひとりの実践も大切ですが、私はよく職場で、「二人が協力して実践すれば、それは1+1=2の力になるのではなく、お互いの知恵や協働によって何倍にもなる」と言っています。「三人寄れば文殊の知恵」ではありませんが、一人では出せない力が発揮できるということだと思っています。ですから私は、「大勢の方々が協働で何かを成し遂げることに、どれだけ大きな力が出せるか」をいつも考えています。先生には、これからも江戸川総合人生大学で、多くのことを教えていただきたいと思います。



■外国の方々と交流を通して社会貢献を実践

ギッシュ はい、これからも学生たちの地域貢献へのサポートをしていきたいと思っています。

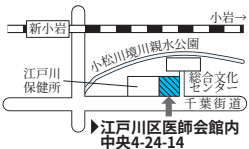
区長 今、日本は景気が落ち込んでおり、私たちはそれを乗り越えようと一生懸命です。しかし、世界的な同時不況ということもあり、非常に困難な状況だと思っています。また、日本も政権交代があり、新しい国づくりの方向性がいろいろと模索されています。厳しい環境の中で迎える新年ですが、常に未来志向で、希望と意欲を持ち続けなければならぬと思います。先生にも後押しをしていただき、私たちも区民のみなさんと一緒に頑張っていきたいです。先生におかれましても、今年もまたすばらしい一年になりますように、心から祈っています。今日は貴重なお話を聞かせていただき、ありがとうございます。今年もまた楽しい一年でありますように祈っています。

休日急病診療

- 診療時間⇒9時～17時（急病のみ受け付け。往診は不可）
- 外科は救急病院（「平成20・21年度くらしの便利帳」182ページ参照）をご利用ください。
- 当番医（変更になる場合もあります）、医療機関の案内は下記のところで行っています。聴覚に障害のある方はファクシミリをご利用ください。
- ▷テレホンセンター＝日曜・祝休日9時～17時
☎(3651)5270 / FAX(3654)4902
- ▷東京消防庁救急相談センター＝24時間
・携帯電話・PHS・プッシュ回線⇒☎ #7119
・ダイヤル回線⇒☎(3212)2323
- ▷東京都保健医療情報センター「ひまわり」＝24時間
☎(5272)0303 / FAX(5285)8080

江戸川区医師会休日・夜間急病診療所

- 診療科目⇒小児科・内科
- 診療時間⇒①日曜・祝休日9時～17時／②毎日21時～翌朝6時
- 問い合わせ⇒①☎(3655)5151／②☎(3651)5270



休日急病当番医

- | 1月2日 | | | |
|------|--------------|------------|-------------|
| 内小 | 佐藤医院 | 中葛西1-4-16 | ☎(3688)7460 |
| | 皆川内科小児科医院 | 北小岩2-9-12 | ☎(3671)0030 |
| | 玉城医院 | 東小岩6-1-3 | ☎(3657)1011 |
| 内 | 矢島クリニック | 松島3-29-6 | ☎(3651)2983 |
| 眼 | 篠崎駅前高橋眼科 | 篠崎町2-407-2 | ☎(5666)3765 |
| 耳鼻 | かみむら耳鼻咽喉科 | 平井6-24-10 | ☎(3612)5002 |
| 1月3日 | | | |
| 内小 | 葛西内科クリニック | 東葛西5-1-4 | ☎(3687)5755 |
| | 岡戸医院 | 南小岩6-20-5 | ☎(3657)1004 |
| | 徳永医院 | 南小岩3-10-10 | ☎(3657)4652 |
| 内 | 一盛病院 | 小松川3-10-1 | ☎(3637)0050 |
| 眼 | 篠崎駅前高橋眼科 | 篠崎町2-407-2 | ☎(5666)3765 |
| 耳鼻 | きた耳鼻咽喉科クリニック | 瑞江2-15-13 | ☎(3676)8733 |

1月4日

- | | | | |
|----|----------|------------|-------------|
| 内小 | 広見医院 | 中央2-28-18 | ☎(3651)5376 |
| | 太田医院 | 松江3-19-17 | ☎(3656)1450 |
| | 篠崎医院 | 西小岩1-25-5 | ☎(3657)6379 |
| 内 | 高野医院 | 篠崎町4-12-12 | ☎(3670)7550 |
| 眼 | 篠崎駅前高橋眼科 | 篠崎町2-407-2 | ☎(5666)3765 |
| 耳鼻 | 船堀ゆり医院 | 船堀1-4-13 | ☎(5605)3301 |

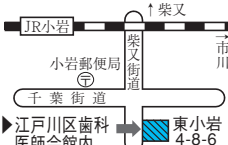
1月10日

- | | | | |
|----|------------|-----------|-------------|
| 小 | 明育小児科 | 東葛西2-3-16 | ☎(3686)0359 |
| 内小 | 宮本医院 | 西一之江4-1-4 | ☎(3651)6288 |
| | 葛西内科クリニック | 東葛西6-1-17 | ☎(5675)7223 |
| 内 | きょう内科クリニック | 本一色3-39-2 | ☎(3655)0600 |
| | 渡辺内科クリニック | 篠崎町7-3-1 | ☎(5243)1871 |
| 眼 | 西葛西井上眼科病院 | 西葛西5-4-9 | ☎(5605)2100 |
| 耳鼻 | 梅澤医院 | 松江2-1-20 | ☎(3656)3387 |

休日歯科応急診療

1月2日～4日・10日

- 診療時間⇒9時～17時
- 電話またはファクシミリで予約のうえ、16時30分までにお越しください。
- 休日専用＝☎・FAX(3672)8215

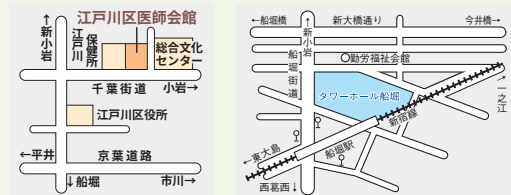


休日応急当番接(整)骨院

- 施術時間⇒9時～17時
- | | | | |
|-------|---------|------------|-------------|
| 1月2日 | 安藤整骨院 | 大杉5-6-21 | ☎(5678)0678 |
| | 宇喜田接骨院 | 宇喜田町1319-2 | ☎(3687)5039 |
| 1月3日 | 佐藤接骨院 | 江戸川6-32-5 | ☎(5676)8110 |
| | 中川整骨院 | 西小岩5-9-12 | ☎(3658)3019 |
| 1月10日 | やまざき整骨院 | 西小岩5-10-13 | ☎(3671)7566 |
| | みずえ接骨院 | 江戸川1-44-6 | ☎(3676)8558 |
- ◎受診の際は必ず健康保険証などを持参してください。

年末年始 休日急病診療所

- 1月4日(月)までの9時～17時
- 診療科目 小児科・内科
- 江戸川区医師会館☎(3655)5151／江戸川区医師会医療検査センター（タワーホール船堀6階）☎(5676)7799＝開設時間内のみ



えどがわ区民ニュース 新春1月号放映中!

新春対談 ～日本文化と地域貢献を語る～

- ◆CATVで放送中!
 - ・江戸川ケーブルテレビ
 - アナログ⇒9チャンネル、デジタル⇒111チャンネル（開10時から／19時から／24時から）
 - ・ケーブルビジョン葛西
 - アナログ⇒5チャンネル、デジタル⇒111チャンネル（開11時から／12時から／15時から／16時から／18時から／19時から／21時から／22時から）
- ◆インターネットでもご覧いただけます!
 - ・えどがわ区民ニュース Broad Band
 - http://www.news.city.edogawa.tokyo.jp/
- ◆図書館でもDVD・VHSを貸し出しています
 - 映像広報係☎(5662)6167

江戸川区成人式

日 1月11日(祝) 場 総合文化センター 区 平成元年4月2日～平成2年4月1日に生まれた区民 団 青少年係☎(5662)1629